



ゆっくと円を描いて歩いたり、左右に体を揺らしたりして踊る二才踊り。



踊り子隊が白装束に陣羽織姿で手持ち太鼓を打つ稚児踊り。



保存会と地域住民により、歴史ある踊りは継承されている。

400年以上の歴史を持つ、加世田の夏の風物詩

土踊は、戦国時代に島津家中興の祖、日新公こと島津忠良が、戦に出向く武士たちを鼓舞するため、家臣を集めて踊らせたことが始まりと伝えられています。現在、踊りは県下三大夏祭りの一つである竹田神社夏祭りに奉納されており、400年以上伝統を重んじながら守り継がれてきました。

踊りは、青年たちが歌いながら踊る勇壮な「二才踊り」と、大勢の小学生たちが太鼓を打ち鳴らし歌って踊る華やかな「稚児踊り」に分かれます。踊りの振り付けや歌詞は難しく、当時は家臣の中に忍びが混じっていないか確認する目的もあつたそうです。

日新公時代の土風を先々に残す貴重な伝統文化として、昭和36年に県指定無形民俗文化財に指定されています。



【南さつま市】

加世田土踊

なごらいわぐり

県指定無形民俗文化財

竹田神社の夏祭りに毎年奉納される郷土芸能「加世田土踊」をご紹介します。

祭りの舞台

竹田神社

開催日： 毎年7月23日
(今年は中止)

住 所： 南さつま市加世田武田17932

駐車場： あり(約300台)

TEL： 0993-53-2111

夏祭りについて：南さつま市観光交流課

郷土芸能について：南さつま市教育委員会生涯学習課

